



発行所
公益財団法人 漁船海難遺児育英会
〒101-0047 東京都千代田区
内神田1丁目2番1号
ダコタハウス5階
電話 03 (3518) 6121
FAX 03 (3518) 6122
E-mail: mizuuro.ikuei@eos.ocn.ne.jp
水色の羽根募金運動

2014年度決議の省略の方法による 第2回理事会

8月7日(同意日)、『2014年度第2回理事会』を書面決議により開催、以下の提案について同意を求めました。①第2回評議員会の招集の決定について、②評議員候補者(2名)の推薦について、③監事候補者(1名)の推薦について、④辞任に伴う奨学生選考委員(1名)の選任について審議され、いずれも全員の同意確認を得、承認可決されました。

【新任者】芳名
▽奨学生選考委員―正木勝美氏
(JF共水連常任監事)

2014年度決議の省略の方法による 第2回評議員会

8月29日(同意日)、『2014年度第2回評議員会』を書面決議により開催、以下の提案について同意を求めました。①辞任に伴う後任評議員(2名)の選任について、②辞任に伴う後任監事(1名)の選任について審議され、いずれも全員の同意確認を得、承認可決されました。

【新任者】芳名 ※順不同
▽評議員―神田一郎氏(船員災害防止協会専務理事)、津田幸喜



なお、新規奨学生を加えた9月15日現在の奨学生数は、別表「都道府県別奨学生数」のとおりです。

2014年度 第2回奨学生選考委員会

7月23日、『2014年度第2回奨学生選考委員会』が東京・千代田区の本会事務所に開催され、「第2回奨学生出願者(7月15日締切)の選考」について審議されました。この結果、学資給与奨学生として中学生1人、高校生等3人の合計4人が、奨学金貸与奨学生として大学生等1人が採用されました。

▽監事―正木勝美氏(前掲)
氏(全日本海員組合水産部副部長)

◆今回をもって辞任された方には、これまでのご尽力に改めて感謝申し上げます。

2014ふれあい旅行

本会普及指導事業の一環である奨学生・保護者交流活動『2014ふれあい旅行』が、8月1日から2泊3日の日程で開催されました。

この活動は、①体験活動を通じて子供たちが「友情の輪を広げ」、かつ「生きる力」を学ぶ場を提供すること、②保護者間の交流の場を提供すること、③親子で貴重な時間と体験を共有することで、さらに家族の絆を深めることを目的として、2010年度より実施しております。

【参加者数】
15人(奨学生9人/保護者6人)
【スタッフ数】
9人(ワンパク大学3人/全協(JF全漁連職員)1人/本会役職員5人)
【宿泊先】
りんどう湖 ロイヤルホテル
【グッズ提供団体】
・JF全漁連
・JF全国女性連
・JF共水連
・(一財)中央漁業操業安全協会
※順不同・敬称略

4回目となる今年度は、全国から募集した奨学生(小3・中2)とその保護者計15人を招待し、栃木県・那須高原を訪れました。初日、ホテルへ向かう途中で雨に降られたものの、その後は天候にも恵まれ、予定を変更することなく熱気球やアーチェリーなど、さまざまな体験を楽しむことができました。大人も子供もみんな仲良く、終始笑顔で過ごした3日間でした。

奨学生未申請者はいませんか?

皆さまのまわりに、海難遺児でいまだ奨学生の申請をされていない方はいらっしゃいませんか?もし、地域にそのような方がおられましたら、本会またはもよりのJF漁連等窓口へ至急お知らせください。
※東日本大震災による大津波で死亡・行方不明となられた漁業従事者および漁船等海難救助協力者のお子さんも対象となります。



〈関連記事2面〉



全水商連 第61回全国記念大会

7月20日、北海道のホテル・ロイトン札幌において、全国各地の水産物小売商代表者約400人が一同に会し、全国水産物商業協同組合連合会(以下、全水商連)主催による『全水商連第61回全国(札幌)大会』が盛大に開催されました。

当日は、主催者側のご厚意のもと、今年も会場入口にて本会募金活動が実施され、漁船海難遺児を励ます運動北海道特別委員会のかたがたとともに、来場された皆さまに対し「水色の羽根募金」を呼び掛けました。

第9回マリンカップ 海難遺児チャリティコンペ

7月26日、『第9回マリンカップ海難遺児チャリティコンペ』が、今年も三重県「津カントリー倶楽部」にて開催されました。

NPO法人「朝光クラブ」(代表、朝香誠彦理事長)が主催するこの大会は、海の事故で父兄を亡くした子供たちを応援しようと、毎年「海の日」を記念し行われていきます。

当日は、大会趣旨に賛同されたTCC(津カントリー倶楽部)メンバーをはじめとする171人もゴルフフェアがプレーに参加されたほか、地元の片田小学校および特別支援学校の子供たち計60人が会場に招待され、鳥羽水族館・古田正美館長による環境教育と魚をテーマとしたトークショーや津・高虎太鼓「津打の会」の演奏、スナッグゴルフなどを楽しみました。

び掛けました。
また、式典では募金の贈呈式が行われ、本会理事長に代わり、本間靖敏JF北海道ぎょれん代表理事常務から永井良和全水商連会長へ感謝状が贈呈されました。

会場でご支援くださいました多くの皆さまに心より感謝申し上げます。



▶式典開演前に、募金をしてくださった永井会長(左)。

また、お昼には、JF三重漁連ならびに三重県漁協女性部連合会の皆さん手作りの美味しい郷土漁師料理も振る舞われ、大会は大盛況のうちに幕を閉じました。

コンペ終了後の表彰式で寄附金の目録を受け取った鈴木基之本会専務理事は、「皆さま方のご趣旨に添い、海難遺児の育英事業のために活用させていただきたい」と述べ、朝香誠彦理事長に感謝状を贈りました。

大会にご支援くださった多くの皆さまに心よりお礼申し上げます。



▶表彰式の様子。右が朝香理事長。(写真提供 津カントリー倶楽部)

JF沖縄漁連 第22回チャリティーゴルフ大会

9月19日、恩納村の「沖縄国際ゴルフ倶楽部」にて、JF沖縄漁連主催による『第22回漁船海難遺児育英資金造成チャリティーゴルフ大会』が開催されました。

この大会は海難等の事故により犠牲となった漁業者の子供が将来社会に役立つ人材に成長してくれることを願い、本会育英事業を支援する全国的な資金造成活動の一環として、沖縄県漁協参事会を中心に、県下JFグループならびに水産諸団体ご協力のもと毎年実施されています。

当日は、趣旨に賛同された約380人ものかたがたが大会に参加され、朝早くから夕方近くまで思い思いにプレーを楽しまれました。プレー後に行われた表彰式で、國吉眞孝同漁連代表理事会長より寄附金を受け取った鈴木基之本会専務理事は、「これまでの長きに亘るご支援に深く感謝するとともに、公益財団法人として事業の充実に一層努力してまいります」と挨拶しました。

大会関係者はじめご協力いただきました多くの皆さまに心よりお礼申し上げます。



(写真提供 JF沖縄漁連)

野外教育事務所 ワンパク大学とは…

1975年に伊豆七島・三宅島で発足。現在は、東京都新宿区に拠点を置き、幼児から大人を対象に、年間を通した自然体験活動の企画・運営を行っている都市型の自然学校です。さまざまな活動の中で「新しい発見・大きな感動」を体験することで、「生活力(生きていく力)」を身につけた感情豊かな「ひと」を育てるとともに、自然環境を維持するための野外教育をされています。

本会が主催する「ふれあい旅行」では、旅の企画・運営のほか、参加者のご自宅から東京(集合場所)までの交通手段の手配などもしていただきます。また、旅行中は基本的にワンパク大学のスタッフが、子供たちと就寝をともにし、食事や入浴などの面倒をみてくださいますので、保護者の皆さんは、安心してご自分たちの時間をゆったり満喫していただけます。



我が家のナス料理を紹介しあったり、あいうえお作文で知恵をしぼりあったりしながら過ごしました。渋滞にもはまることなく、午後5時には宿泊先の「りんどう湖ロイヤルホテル」に到着。各自、部屋に荷物を運び、一息入れたところで夕食の時間です。ホテルでの食事は全てバイキング形式だったので、地元の新鮮な食材を使ったお料理な

2014ふれあい旅行 主な行程と参加者の声



8月1日(1日目)

午後1時、参加者・スタッフ全員が東京都千代田区のコープビルに集合。皆さん、お互いに挨拶はかわしたものの、なんだか口数も少なくちよつと緊張気味。しばらくしたところで結団式を開会しました。式は、主催者代表、ご来賓のかたがたの挨拶に続き、参加者・スタッフの紹介、最後に参加者代表が結団の言葉を述べて終了となりました(写真①)。式の後は、バス乗車前に少しでも参加者同士の距離を縮めてもらおうと、簡単なゲームをして遊びました(写真②)。お互いの呼び名を決めて、笑顔が戻ってきたところで那須高原へいざ出発(写真③)！車内でも、

ど、おのおのが好きなものを好きなだけ頂くことができます(写真④)。食後は、ホテルの駐車場でゲームや花火を楽しみました(写真⑤)。

＊福岡空港から羽田空港に飛行機で来ました。初めて飛行機で来たので、ちゃんとできるか心配だったけど、人が少なくって、まいごにもならずちゃんと来れたのでよかったです。(小4)

＊僕は、このふれあい旅行に参加して4回目になります。集合場所に着いて思ったのが、懐かしいなということ。また、前に来ていた人やワンパク大学のかたがたに会えて嬉しいという気持ちもありました。(中2)

＊旅行のホテルはバイキングがおいしかったし、お風呂も温かくて気持ちよかったです。(小6)

＊食事で一番よかったのが、夜ごはんでした。いろいろな物があつて、とてもおいしかったです。(小4)

＊夜の火花は久しぶりにやったので、改めて火花はきれいだなと思いました。(中2)

＊東京の集合場所まで自分たちで行くなんて、ふだん車での移動ばかりの私にとってとても不安でしたが、意外とスムーズに移動することができ、安心しました。(保護者)

＊会場に着いて、初めは緊張しましたが、スタッフの皆さんが気軽に話しかけてくださり、もつと堅苦しい会なのかと思っていました。が、全くそんなことはなく、当日から自然に打ち解けることができました。食事や部屋も子供と大人が別々で、初めは心配しましたが、見かけるたびに他の子と仲良くなっているのとても安心しました。(保護者)

8月2日(2日目)

2日目は、千本松牧場へ行きました。メインイベントは、なんともいっても熱気球体験です(写真⑥)。熱気球は、気象条件に左右



⑥熱気球体験

ものとあつて、みんな興味津々。まずは、係の人の説明を受けて、各自11本ずつトライ。少しでもコツを掴もうと、大人も子供も夢中になって練習していました。そして、いよいよ本番！改めて全員11本ずつ矢を射り、的に当たった合計点で競い合いました。

お昼はバーベキューでしたが、暑さのせいでみんなの食欲も減退(写真⑧)。お肉より冷たいお水の方がすぐになくなりました(笑)。途中でアーチェリー大会の表彰式も行い、上位5名には豪華賞品が授与されました。その後、自由時間となりましたが、何人かの子供たちはアーチェリーが思いのほか気に入ったらしく、暑さも構わず再びチャレンジしていました。

午後は、牧場からバスで移動し、七ツ岩吊り橋(写真⑨)と那須高原ビジターセンター(写真⑩)を見学しました。センターでは、那須の四季折々の映像を鑑賞したり、子供たちは、そこに生息する野鳥等のクイズにも参加しました。午後4時には、ホテルに戻り、汗を流してから夕食に。引き続き、保護者は育英会スタッフと懇親会(写真⑪)、子供たちはワンパク大



⑫ふれあいタイム

学スタッフとゲームをして遊びました(写真⑫)。

＊アーチェリーで黄色(的の中心)に一本もあたらなかったのて、びっくりです。来年はあてたいです。ききゅうは25mもあがるので、けしきはきれいでした。東西南北ぜんぶの方こうに森がありました(小3)。

＊僕は自称高所恐怖症なので、熱気球は少し不安だったけど、乗ってみると眺めもきれいで高い所も良いんだなと思いました。でも、足が少しも動かず、首を動かして頑張つて景色を見る感じになったので、ちょっと残念でした(中2)。

＊みんなが熱気球に乗っている姿を見ると、笑顔で手をふっていました。でも、私は高所恐怖症だから手がふれるかどうか心配していました。ですが、意外におもしろくて、景色もきれいでした。でも、火がすぐく熱くて気になりました(中1)。

＊熱気球はとても楽しみにしていましたが、実際に熱気球に乗ったら、とても良い景色でした(中2)。

＊一番楽しかったことは、初めてアーチェリーをしたことです。練習の時はあまり当たらなかったけど、本番は練習の時より多く当たったのでうれしかったです(小4)。

＊アーチェリーは生まれて初めてやったので、絶対30点か40点だなあと思っていました。ですが、思いのほか的の中心に当たったので、自分でもびっくりしました(中2)。

＊そして、結果は1位。得点は115点でした。お母さんが「高校に入ったらアーチェリー部に入部しなさい」と言っていました。すごく楽しかったです(中1)。

＊アーチェリーは2回やりました。1回目はぜんぜんまともに当たってなかったんですけど、2回目はまともに当たったのでよかったです(中2)。

＊ビクターセンターでは、問題に答えた人はカードをもらうことができます。私はもみじのきれいなカードをもらいました。うれしかったです(小6)。

＊さいごの日にたくさんゲームを

しました。一番おもしろかったのがたから探しゲームでした。カメラにおたからがありました。とても楽しかったです(小3)。

＊ワンパク大学の人が作ったゲームもとてもおもしろかったです。特におもしろかったのが、名前を当てるゲームです。私のチームはビリだったけど、とても楽しかったです(小4)。

＊2日目の夜には子供だけのゲームもありました。そのゲームは、クイズ、借り物競争、宝探しをやりました。チームに分かれての戦いでした。チームの人たちとも、もともと仲良くなれました。とてもうれしかったです(中2)。

出発。バスの中では、子供たちで後部座席を占領し、仲間と過ごす最後のひと時を楽しんでいました(写真⑬)。途中のインターで家族ごとに席替えし、車内で解散式を行いました。式では、一人ひとりが3日間を振り返り、感想を述べました。帰りのバスに東京駅に到着。みんなで別れを惜しみつつ、解散となりました。

＊最後の日は焼き絵をしました。私は絵が下手だけど、いざいとな手くできたので、よかったです。来年もさんかして、いろいろなことにチャレンジしてみたいです(小4)。

＊クラフトでは、こんな絵や字の書き方があるんだと知りました。焼くという発想を思いついた人はすごいと思いました(中2)。

＊ワンパク大学の人が旅行に来ていた人と仲良くなつてよかったです。また来年も参加しようと思います(小6)。

＊初めて参加した人も、何回も来てる人も、学年関係なく、みんなとふれあえる楽しい旅行でした(中2)。

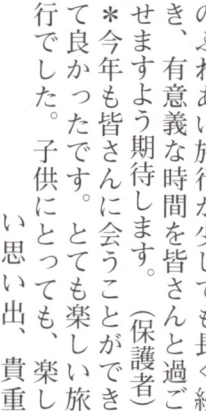
＊毎年、夏休みにふれあい旅行があることを私はすごく楽しみにしています。もう今年で3回目。懐かしい人たちがまた会えるんだ、という気持ちと、新しい人と仲良くなろうという二つの気持ちで鹿兒島から旅立っています。最初はみんなとひざしづりだったのが、恥ずかしかったですが、帰る時には「また会おうね」と笑顔で会話をしていた。ふれあい旅行は「いつものまにか」というのがすごく多いなあと感じます。ふれあい旅行で学んだことは、友達と交流することです。絶対に悲しい顔をして帰る人なんて誰もいません。それは、みんなと交流し、思い出をつくるためだと思います(中1)。

＊僕が一番思ったことは、楽しいことはすぐ終わるんだなということです。宿題や学校の授業は全然終わらないのに、友達と遊ぶときはこの旅行はすぐ終わるなんて不公平だと思っています。すぐ終わって

など感じるほど、とても楽しく充実していたんだと思います。僕はこの3日間を3日ではなく一生の思い出だと思っています(中2)。



⑬ 那須倶楽部



＊子供も大人も心のメンテナンスができた素晴らしい旅だと感じました。来年ももっといろいろな人と出逢い、楽しい旅になると信じています。このような機会を与えてくださる多くのかたがたに感謝します(保護者)。

＊今年2回目の参加をさせていただきました。今思えば、昨年、思いついて参加の希望をして本当に良かったと思っています。旅行中は子供たち同士仲良くなり、ワンパク大学の方がお世話もしてくださるので、私はお母さん方と日ごろ話せない悩みやストレスを聞いてもらったり、元気をもらったりと他ではできない旅行をさせていただきました。まだ参加されたことのない方、ぜひ一度来られたら良いのにと思います(保護者)。

＊今回で3回目のふれあい旅行に参加でき、本当に感謝しています。振り返ると、初参加の時は、親で大変緊張していました。育英会をはじめ、スタッフのかたがたと徐々打ち解け、保護者のかたがたとの親しくでき、大変ありがたかったです。今後さらに多くのふれあい旅行の参加を期待し、このふれあい旅行が少しでも長く続きますよう期待します(保護者)。

＊今年も皆さんに会うことができ、良かったです。とても楽しい旅行でした。子供にとっても、楽しい思い出、貴重な体験をさせていただきありがとうございました。ご協力ください(保護者)。

新しい募金箱ができました！

このたび、本会募金箱が下記のとおり新しくなりました。これらは、2012年度の公益法人移行に伴う名称変更や同年10月の事務所移転に伴う連絡先の変更に伴い作成したものです。現在、旧式募金箱(写真③)を設置いただいている団体には、新しい「設置型募金箱」(写真①)を順次配付し、交換していただいているところですが、お手元に届いてない場合や新たに設置いただける場合は、恐れ入りますが、本会まで直接ご連絡ください。

①設置型募金箱



[サイズ: 高さ18.3cm×幅17.7cm×奥行10cm]

受付・窓口等に常備で設置いただく、プラスチック素材の募金箱です。募金投入口に段差をつけたことで、これまでのものより硬貨やお札が大変入れやすくなりました。なお、集まった募金は、本会専用の振込用紙(設置団体等宛に年1回発送予定)にてお振込み願います。

③旧式募金箱各種



[設置型・木製]

②活動型募金箱



[サイズ: 高さ25cm×幅17.5cm×奥行7.8cm]

イベントや街頭での募金活動時に、ご利用いただくタイプです。やわらかいプラスチック素材なので重さも軽く、首から紐で下げられるので、小さいお子様にも安心してお持ちいただけます。また、折り畳み(組立)式のため、保管の際など場所をとりにません。なお、こちらの募金箱は貸し出し用となりますので、使用後は本会へご返却いただきます。

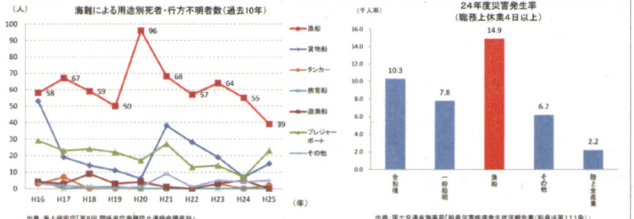


[活動型・プラスチック]

10月は全国漁船安全操業推進月間です！

- ・漁船安全操業に関する漁業者意識の向上
- ・ライフジャケット着用率の向上等による人身事故発生率の減少
- ・安全航行・安全操業の徹底による漁船海難発生等の減少

漁船での操業は、いつも危険と背中合わせです(海難による死者・行方不明者の約5割が漁船、労働災害発生率は陸上産業の約7倍です)



自分の命を守るため、家族と仲間のため、ライフジャケットを必ず着用しましょう！

- ・ライフジャケットは、万一の海中転落の際、自分の命を守ってくれます。
- ・行方不明になった場合、死亡認定まで何年かかることがあります。
- ・行方不明になった場合、仲間が長期間、漁を中断して捜索することになります。



ご寄附のお礼

2014年6月から8月までに
ご寄附を頂いた皆さまのご芳名
(敬称略) を掲げ、厚くお礼申し
上げます。

励ましおじさん・おばさん

〔6月〕◎北海道▽加藤茂子▽本
間雅彦◎岩手県▽長澤浩美◎宮城
県▽鎌内浩◎秋田県▽山岸剛◎茨
城県▽常盤和己▽藤本歌子◎埼玉
県▽古関和則▽小林哲朗▽志村隆
司▽山口昭博▽濱田研一▽松本安
裕◎千葉県▽伊賀久則▽猪苗代健
一▽大類裕久▽齋藤雅晴▽坂口は
つ子▽平田淳一▽宮澤敏彦▽若林
満◎東京都▽飯島孝夫▽香川謙二
▽勝野輝美▽榎洗洋取締役会長江
刺富美子▽柄澤彰▽木部茂徳▽高
田明生▽戸田満弘▽長屋信博▽根
本京子▽廣重和夫▽本川一善▽松
井明▽向井昌子▽渡辺千鶴子◎神
奈川県▽遠藤久▽大森敏弘▽越智
豊子▽佐藤明美▽中村芳正▽大和
陸子◎福井県▽武田忠男◎静岡県
▽古寺健二◎大阪府▽角丸英子◎
兵庫県▽武田佳子◎山口県▽熊谷
佐枝子

〔7月〕◎北海道▽加藤茂子▽本
間雅彦◎岩手県▽長澤浩美◎宮城
県▽鎌内浩◎茨城県▽常盤和己▽
藤本歌子◎埼玉県▽古関和則▽小
林哲朗▽志村隆司▽山口昭博▽濱
田研一▽松本安裕◎千葉県▽伊賀
久則▽猪苗代健一▽岩崎昌子▽大
類裕久▽齋藤雅晴▽坂口はつ子▽
平田淳一▽福田昌佳▽宮澤敏彦▽
若林満◎東京都▽飯島孝夫▽香川
謙二▽勝野輝美▽榎洗洋取締役会
長江刺富美子▽柄澤彰▽木部茂徳
▽高田明生▽戸田満弘▽長屋信博

▽根本京子▽廣江志賀子▽廣重和
夫▽本川一善▽松井明▽向井昌子
▽渡辺千鶴子◎神奈川県▽遠藤久
▽大森敏弘▽越智豊子▽佐藤明美
◎福井県▽武田忠男◎静岡県▽古
寺健二◎山口県▽熊谷佐枝子◎長
崎県▽寺島和子

〔8月〕◎北海道▽加藤茂子▽北
海道信漁連職員会▽本間雅彦◎岩
手県▽長澤浩美◎秋田県▽山岸剛
◎茨城県▽常盤和己▽藤本歌子◎
埼玉県▽宇賀神義宣▽金木愛子▽
古関和則▽小林哲朗▽山口昭博▽
濱田研一▽松本安裕◎千葉県▽伊
賀久則▽猪苗代健一▽大類裕久▽
坂口はつ子▽宮澤敏彦▽若林満◎
東京都▽飯島孝夫▽香川謙二▽勝
野輝美▽榎洗洋取締役会長江刺富
美子▽柄澤彰▽木部茂徳▽須藤徳
之▽高田明生▽高吉晋吾▽戸田満
弘▽長屋信博▽根本京子▽春田孝
二郎▽朝子▽廣重和夫▽本川一善
▽松井明▽渡辺千鶴子◎神奈川県
▽遠藤久▽大森敏弘▽越智豊子▽
佐藤明美◎福井県▽武田忠男◎静
岡県▽古寺健二◎大阪府▽角丸英
子◎兵庫県▽武田佳子◎山口県▽
熊谷佐枝子

水色の羽根募金

1、漁協系統募金 (各都道府県の
漁連、信漁連等で構成する「漁船
海難遺児を励ます地方協議会 (略
称・地協協)」等で取り扱った分、
一般寄附を含みます。)

〔6月〕◎青森県▽財青森県沿岸
漁業振興協会▽三浦雄一郎冒険登
山支援青森県協議会▽豊かな海づ
くり水産団体協議会◎三重県▽み
えぎよれん会◎兵庫県▽JF伊保
▽JF育波浦▽JF岩見▽JF高
砂▽JF室津▽JF赤穂市▽JF
津名▽JF東播磨▽JF南あわじ

▽JF南淡▽JF姫路市▽JF浜
坂▽JF富島▽JF福良▽JF兵
庫▽JF兵庫漁連▽JF湊▽JF
明石浦▽JF由良町▽JF林崎◎
香川県▽浅海増殖研究発表全国大
会◎長崎県▽JF阿須湾▽JF宇
久小値賀▽JF九十九島▽JF佐
世保市▽JF志々伎▽JF上対馬
南▽JF神部▽JF瑞穂▽JF瀬
川▽JF生月▽JF西彼町▽JF
西有家町▽JF石田町▽JF多良
見町▽長崎県漁連職員OBなぎさ
会▽JF長崎市たちばな▽JF長
崎市福田▽長崎大学鴻洋祭実行委
員会▽JF島原半島南部▽JF平
戸市▽JF有家町▽地協協◎大分
県▽佐伯市役所水産課職員一同▽
第29回水産関係親睦ゴルフコンペ
▽葉師寺水産会

〔7月〕◎北海道▽全国水産物商業
協同組合連合会第61回全国 (札幌)
大会募金▽日高地区漁協職員協議
会▽地区大会◎東京都▽東日本漁
連のり共販協議会◎静岡県▽JF
いとう▽初島漁業協同組合婦人部
▽JF清水用宗支所▽用宗漁港ま
つり実行委員会◎兵庫県▽JF家
島▽JF室津▽JF洲本炬口▽J
F神戸市▽JF坊勢◎山口県▽J
F山口本店◎徳島県▽上田幸男▽
地協協◎福岡県▽JFひびき灘▽
〔8月〕◎秋田県▽秋田県漁協女
性連北部統括支部より会◎千葉
県▽JF富津代表理事組合長佐久
間國治◎静岡県▽地協協◎三重県
▽特定非営利活動法人朝光クラブ
▽マリンカップ海難遺児チャリ
ティーコンペ◎京都府▽千原清市
◎兵庫県▽JF沼島▽JF但馬◎
和歌山▽JGF Aビルフィッシュ
トーナメントin串本実行委員会▽
田辺市農林水産祭実行委員会▽し

らす祭り▽地協協◎福岡県▽JF
遠賀本所▽JF糸島船越支所▽J
F宗像本所・神湊支所JF福岡市
本所・西浦支所・唐泊支所・浜崎
今津支所・志賀島支所・伊崎支所・
玄界島支所・弘支所・小呂島支所・
能古支所・箱崎支所・姪浜支所◎
長崎県▽JF大島村◎大分県▽
佐々木重鷹▽JFおおい上入津
支店

2、一般寄附

〔6月〕◎埼玉県▽小野沢通◎千
葉県▽飯村久子◎東京都▽榎セイ
ブツケンキウシヤ▽高野恵子▽
若井克友▽清水康雄▽JFマリン
バンク支援協会退任に際し▽漁協
共済推進大会◎神奈川県▽山田和
枝▽ニチモウ(株)代表取締役専務
取締役・山田光男氏妻◎富山県▽
JFくろべ◎静岡県▽静岡県立焼
津水産高等学校◎奈良県▽辻元正

夫◎鳥取県▽浜野茂夫◎広島県▽
広島県商協同組合青年部◎鹿児島
県▽富元小松

〔7月〕◎北海道▽(有)式本滝漁業◎
岩手県▽三陸沿岸芸能振興会◎埼
玉県▽小野沢通◎千葉県▽飯村久
子◎東京都▽小崎寛子▽石崎信義
▽潮待茶屋企業組合▽東京築地中
央市場福祉報徳会▽買荷保管企業
組合◎山梨県▽佐藤一江◎静岡県
▽上柳昭治◎鳥取県▽浜野茂夫◎
広島県▽広島県商協同組合青年部
―全水産連第61回全国 (札幌) 大
会にて◎高知県▽山本光博◎福岡
県▽福岡水産物商業協同組合―全
水産連第61回全国 (札幌) 大会に
て◎鹿児島県▽富元小松

〔8月〕◎宮城県▽宮城県秋刀魚
漁撈通信協会―全日海東北地方支
部經由◎埼玉県▽小野沢通◎千葉
県▽飯村久子◎東京都▽安川糸子

▽ (公財) 日本釣振興会▽阪井光
平◎鳥取県▽浜野茂夫◎山口県▽
浦部久幸◎鹿児島県▽富元小松
※寄附金は、全て公益目的事業である
漁船海難遺児等に対する修学助成事
業に使用させていただきます。

編集後記

今回、本紙にて新しい募金箱を
2種紹介させていただきましたが、
この他にも、本会では募金活
動時に必要なグッズ (資料) をい
ろいろと取り揃え、無料で配布ま
たは貸し出しをしています。地元
のお祭りや学校の文化祭などイベ
ントの多いこの季節、皆さまご検
討の上、ぜひ、ご活用ください！
なお、グッズ (資料) の一覧は本
会ホームページでご覧いただく
か、お電話・FAXにてお気軽に
お問い合わせください。(M)

都道府県別奨学生数

(2014年9月15日現在/単位:人)

都道府県名	給与奨学生						2014年度第2回採用者					
	幼児	小学生	中学生	高校生等	小計	大学生等	合計	幼児	小学生	中学生	高校生等	大学生等
北海道	6	7	4	15	32	10	42				1	
青森			3	5	8		8				1	
岩手	1	8	6	10	25		25					
宮城	1	7	10	12	30		30					
秋田												
山形				1	1		1					
福島		14	8	5	27		27					
茨城												
千葉	1	2	2	3	8	4	12					
東京				1	1	2	3					
神奈川	1	1	2	1	5	1	6					1
新潟			2		2		2					
富山												
石川			2	2	4		4					
静岡						2	2					
愛知				2	2		2					
三重						1	1					
大阪												
兵庫				4	4		4					
和歌山	1	1			2		2					
鳥取				1	1		1					
島根				1	1		1					
岡山			1	1	2		2					
広島		1			1		1					
山口			1	3	4	2	6					
徳島				1	1	1	2					
香川			1	2	3		3					
愛媛		3	1	4	8	2	10					
高知			1		1	2	3					
福岡			1	1	2	1	3					
福岡有明海		1	1	1	3		3					
佐賀玄海		2	3		5		5					
佐賀有明海												
長崎		6	4	4	14		14			1	1	
大分				1	1	1	2					
熊本	1	4	1		6		6					
宮崎		1	3		6	2	8					
鹿児島		3	3	2	8		8					
沖縄		1	1	4	6		6					
合計	12	62	62	90	226	30	256			1	3	1

*給与奨学生には特別支援学生を含む。
*貸与奨学生には入学一時金のみ奨学生を含む。
*休学中の奨学生は人数に含まない。
*2014年度第2回採用者は内数である。